



3 市も目標達成を目指して取り組みを進めています！

市の最上位計画である「とりで未来創造プラン 2020」では、全ての重点施策に SDGs の目標を関連付け、その達成を目指した行政運営を進めています。市が行っているさまざまな取り組みのうち、特徴的な三つの事例を紹介します。

「とりで未来創造プラン 2020」を詳しく知りたい方は、コチラをご覧ください

☎ 政策推進課 ☎ 内線 1212



新しい時代を生きる子どもたちへ

誰一人取り残さない学習環境を提供するため、市立小・中学校に一人一台のタブレット端末を導入するなど、国が掲げる「GIGA スクール構想」を推進しています。

また、多様な価値観を学ぶ機会として、市の取り組みを紹介したり、藤代高校での公開授業のように、SDGs について一緒に考えるため、市職員を各校に派遣しています。

小・中学生に、それぞれ一台の端末が！



県内初の宣言なんだ！



「気候非常事態宣言」の表明

未来を担う世代にかけがえのない地球環境を引き継ぐために、市は 8 月 3 日、県内初・全国で 27 番目の自治体として、気候非常事態宣言を表明しました。

地球温暖化対策に取り組み、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すなど、気候変動の緩和とそれに適応するまちづくりを進めています。



多様なパートナーとの連携

東京芸術大学・JR 東日本東京支社・アトレ・市の 4 者は、協定を締結し、その取り組みの一環として昨年 12 月に「たいけん美じゅつ場 (VIVA)」を取手駅ビル内にオープンしました。

それぞれの立場から経験や資源を出し合い、アートを基軸として活力のある個性豊かな地域社会の形成と発展を目指します。

力を合わせると、大きな力になるね！



あなたも始めませんか？身近な SDGs

SDGs の目標達成には、私たち一人一人が 17 項目の中で何ができるかを意識して取り組むことが大切です。身近な社会課題を「自分ごと」として捉え、行動することが目標を達成する第一歩となります。

「持続可能な開発目標」というと難しく感じるかもしれませんが、SDGs は私たちの日常生活とつながっています。まずは自分や家族でできる身近な行動から始めてみましょう。



運動を習慣化する。健康診断、検診を定期的にする。



水道の蛇口をこまめに止める。油を流し台に流さずに拭き取る。



食べ残しをしない。食材の廃棄が少なくなるような調理をする。

自分の行動と SDGs のつながりを考えてみましょう